



前半戦はCR3Pでエビス西からZR10を投入

昨年までS15シルビアで戦っていた村上選手は、昨年末にGR86にスイッチすることを発表。今年の開幕戦奥伊吹ラウンドにはワーク・エモーションCR3Pを履いたクラブマンズイエローのGR86で参戦して、両日とも追走進出して順調にポイントを獲得している。

つづく筑波ラウンドはエンジンブローにより2戦ともポイントを落としかけたが、エンジン載せ替え&タービンのサイズアップによりさらなる戦闘力を得たエビス西ラウンドはふたたび2戦ともポイントを獲得。しかも第5戦では村上選手にとって初の決

第4戦まではディスクがゴールドのワーク・エモーションCR3Pを使っていたが、今回からアズールホワイトのZR10に変更になっていた。

D1エビス西ラウンドは第5戦、第6戦ともベスト4に3台ずつ、8台中の66台のGR86が勝ち上がった。長年シルビア系が中心だったD1界も、ついに世代交代の波が押し寄せてきた感がある。そんな第5戦でファイナル進出した村上選手の躍進を支えているのは、今年から投入したGR86とワーク・エモーションZR10だ。

WORK EMOTION ZR10

18×9.5J off+22/19×10.5J
Repair Create×326power GR86 ZN8 村上 満

D1GP第5戦エビス西で準優勝!

闘輪

BATTLE WHEEL

いまだチームを背負って 最高峰をめざす広島の 勝負の年に本気の レーシングホイールを選択!

勝進出、進優勝に輝く好調ぶりだ。このGR86のポテンシャルの高さについて、かつてチームTOYOのマシン製作でその腕を振るっていたゼウス倉川氏は「ウチはじっくり時間をかけて作った、後出しジャンケンみたいなモノ。それだけにTOYOやほかのGR86には負けないですね」と語る。

そんなGR86のホイールはエビス西からZR10に変更になっていた。そもそも村上選手は広島のチーム・クラブマンズとともに立ち上げた盟友・326power春口氏から協賛を受けて、昨年までのS15シルビアにヤバキングを愛用していた。これまでシャコタン御用達のドレスアップホイールを履いてD1を戦うという独自のスタイルを貫いてきたのに、今年からGR86にスイッチすると同時にワーク・エモーションを選択した。その理由は?

「GR86だと19〜20インチが履けるじゃないですか。でもヤバキングには18インチまでしかないのが春口に19インチを作ったよって頼んだんですが」と村上選手。シャコタン向けだから19インチ以上になるとあまりニーズがな



単走は惜しくも2位!

第5戦の単走は優勝した藤野選手とまったくの同点。もう1本の得点(セカンドベスト)の差により単走優勝を逃してしまっ。翌日の第6戦の単走順位は10位。ドアに貼るメンスポンサーのリベアクリエイトも326パワーも自身が所属するクラブマンズのメンバーなのだ。



ファイナルで親友・川畑と対戦!

決勝の対戦相手は先週いっしょに走ったばかりという川畑選手。昨年の奥伊吹ではベスト16での対戦(川畑選手の勝利)だったが、今回は初の決勝という舞台への気負いもあってか1本目の後追い進入をミス、ヘアピンでもコースアウトしてしまう自爆で惜しくも初優勝を逃してしまっ。結果として単走も追走もチームTOYOにいま一歩及ばなかったという、非常に悔いの残る1日になってしまっ。



D1界注目の レジェンド級 メンバーによる ドリームチーム!

GR86の車両製作とスポンサー担当のゼウス倉川くんは、川畑選手が一昨年まで乗ったGRスープラの製作に携わった関西屈指のビルダーだ。そしてエンジン製作担当はジーク店長の一柳くんで、元D1選手の経験を活かしてメカニックとしてだけでなくいろんな面でチームに貢献する。さらにコンピューターセッティング担当はドゥーラック伊藤さん(チームTOYOも担当)という、業界では誰もが知る一騎当千のツワモノたちが村上くんのD1参戦を支えているのだ。

エンジン製作担当の一柳氏いわく「3.6リッターよりまわしやすい3.4リッター」を選択してHKSステップ2キットを組んだ2JZを製作した。タービンはこれまでのG40からHKS-GT75 100、BBIに変更。コンピューターはFCONVプロだ。



サスペンションのパーツ構成はチームTOYOのGR86とほぼおなじ。エビス西から定番のセルシオラックをBMW E92ラックに変更したことで、ハンドル1回転あたりのラック移動量が増えている(よりクイックになる)。

タイヤはフロントがブロックスR888R(255/35-18)でリヤがシバタイヤREVIMAX R23(285/35-19)と前後で使いわけている。使いたいサイズがそれぞれのメーカーにないための組み合わせである。ワイドボディキットはリザルトジャパン製。

